

SDGs 達成に向けた取組み

自動販売機の設置で様々な支援への取組み



目的・背景

令和 4 年から取組みを開始した、公益財団法人愛媛の森林基金の「緑の募金」及び「子ども食堂支援」を引き続き行っています。こちらは SDGs の 17 の目標の 15 「陸の豊かさを守ろう」及び 2 「飢餓をゼロに」という取組みに一致し、現場事務所及び本社の自動販売機で飲料水を購入しながら募金活動をしています。

具体的な取組内容

この取組みは、ダイドードリンコ株式会社様のご協力のもと、募金機能付き飲料自動販売機（以下、自販機）を設置し、売り上げの 3% を寄附することができるというものです。現場事務所内設置の自販機分の寄附先である公益財団法人愛媛の森林基金の「緑の募金」は広葉樹の植栽などの森林整備や身近な環境の緑化活動、自然愛護活動（緑の少年団の育成）など様々な緑化活動に役立っています。森林づくりをすることで地球温暖化防止にもつながると考えます。こちらの自販機は令和 3 年 7 月から設置を開始しました。また、新居浜市社会福祉協議会に登録をされている 8 つの子ども食堂へ売り上げの 3% を寄附することができる自販機も設置しています。

本社へ設置している自販機は災害救援自販機となっています。普段は通常の自販機として使用しますが、災害等で停電になった際には、自販機内の商品を無料で提供することができる自販機です。災害の発生によりライフラインが寸断されてしまった場合、ライフラインの復旧や支援物資が届くまでの期間、災害救援自販機は一時的に飲料を提供するインフラとしての役割を担うことができます。災害大国である日本にとっては欠かせない設備の 1 つだと考えます。

成果

- ・公益財団法人愛媛の森林基金の「緑の募金」へは、令和 4 年 5 月～令和 5 年 4 月までの 1 年間で ¥63,554 を寄附しました。(昨年比：2.2 倍)
- ・「子ども食堂支援」へは、令和 5 年 1 月～10 月までで ¥24,993 を寄附する予定です。(昨年比：2.1 倍)

※昨年比…昨年の募金金額を該当期間の月数で割って算出



担当者の思い

SDGs 全体を通して見ると大業を成し遂げるような項目ばかりで難しいように感じていましたが、小さなことから実際に何ができるかを考えて実践してみることが SDGs にとって重要な第一歩であり持続可能な目標だと感じました。

(総務部 村上)